

2012年5月8日

社団法人 日本糖尿病協会  
サノフィ・アベンティス株式会社

## 「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」開催

- ・ ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)の更なる認知向上に向けて -

社団法人 日本糖尿病協会(理事長:清野裕、所在:東京都千代田区)とサノフィ・アベンティス株式会社(代表取締役社長:ジェズ・モールドィング、本社:東京都新宿区、以下「サノフィ・アベンティス」)は、6月2日(土) 東京ミッドタウン ガレリアB1F アトリウムにおいて、糖尿病について学ぶイベント「測ることからはじめる糖尿病の予防と治療」を開催いたします。

HbA1cは糖尿病の診断・治療の指標となる重要な検査値です。日本糖尿病協会とサノフィ・アベンティスは、HbA1cの重要性を理解し、自分のHbA1cの値を知ってもらうことを目的に、2006年より毎年「ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)認知向上運動」を全国で開催しています。さらに本年4月からHbA1cの表記が国際標準化され、従来日本において使用されてきたJDS値から国際的に使用されているNGSP値に変更されたことから、より一層の認知向上が求められています。そのため、6月2日のイベント開催当日は、専門医の先生より糖尿病の予防や治療方法などについてお話しいただくとともに、イベント会場において、自分のHbA1c値がその場でわかる無料測定など認知度向上のために企画された様々なブースを展示する予定です。

糖尿病患者数は年々世界規模で増加し、2011年に3億6600万人であった世界の糖尿病人口は2030年には5億5200万人に達することが明らかになっています<sup>1</sup>。日本国内においても成人の5人に1人が糖尿病か糖尿病予備群といわれています<sup>2</sup>。そのような状況下で、日本糖尿病協会およびサノフィ・アベンティスは、糖尿病についての正しい情報提供を行うことにより、引き続き糖尿病の進展防止、合併症の防止のために貢献してまいります。

以上

別紙: 1) HbA1c 認知向上運動2012 「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」イベント概要

1 International Diabetes Federation 2011年11月発表

2 厚生労働省 平成19年度 「国民健康・栄養調査結果」

<別紙 1>

## ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)認知向上運動 2012 「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」イベント概要

日時：2012年6月2日(土) 11:00~17:00

場所：東京ミッドタウン ガレリアB1F 『アトリウム』

住所：東京都港区赤坂9丁目7-2



### プログラム：

#### ① あなたの疑問もこれでスッキリ！「専門医が語る 糖尿病トークセッション」

第1部：11:30~12:30

第2部：13:30~14:30(各、先着80名様)

##### ● スピーカー：

清野 裕先生(社団法人日本糖尿病協会 理事長/関西電力病院 院長)

南條 輝志男先生(社団法人日本糖尿病協会 理事/和歌山ろうさい病院 病院長)

稲垣 暢也先生(社団法人日本糖尿病協会 理事/京都大学 大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学教授)

##### ● ゲストナビゲーター：

橋本 志穂(タレント・フリーアナウンサー)

#### ② あなたのHbA1c がその場で分かる！「糖尿病 測定&体験ゾーン」

1. HbA1cの無料測定(先着150名様)

2. 栄養相談

3. 糖尿病のパネル展示

4. 血圧/体脂肪無料測定

※プログラムの内容は諸事情により変更の可能性があります。予めご了承ください。

### 運営：

共催：社団法人 日本糖尿病協会、サノフィ・アベンティス株式会社

後援：社団法人 日本糖尿病学会

協力：株式会社 サカエ

## HbA1cについて

赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したもので、検査日から過去1～2カ月間の平均血糖値を反映する血糖コントロールの指標です。2010年7月1日より、糖尿病の診断基準として「HbA1c(NGSP)  $\geq 6.5\%$ 」が加わりました。血糖値とは異なり、検診前の食事摂取などの影響を受けないHbA1c値は、糖尿病の診断・治療の指標となり、病気の経過を観察するのに役立ちます。合併症予防のためには定期的な測定が重要だといわれています。HbA1cは2012年4月1日より日常診療においても、従来のJDS値から国際標準値であるNGSP値による表記に変更されました。

## 特定公益増進法人 社団法人日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する知識の普及啓発、療養指導、糖尿病に関する調査研究、糖尿病治療の標準化や新しい医療導入のための環境整備、国際交流を通じた海外との連携をその理念に掲げ、広く国民の健康増進に寄与することを目的として1961年(昭和36年)に結成されました。患者、医師・歯科医師・コメディカルスタッフ、市民・企業などの連合体として組織された社団法人です。現在会員約10万5,000人(都道府県支部「友の会」1,600)を擁し、日本の糖尿病患者のQOL(生活の質)向上に貢献しています。

## サノフィ・アベンティスの糖尿病領域への取り組み

サノフィ・アベンティスは、日本の糖尿病領域において経口血糖降下剤とインスリン製剤を提供し、各治療段階における糖尿病患者さんに貢献する製薬企業です。経口血糖降下薬の主力製品として、2型糖尿病に使用されるスルホニルウレア系経口血糖降下薬(SU薬)「アマリール<sup>®</sup>」(一般名:グリメピリド)及び選択的DPP-4阻害薬「エクア<sup>®</sup>」(一般名:ビルダグリプチン)と、1型および2型糖尿病を対象とする持効型溶解インスリンアナログ製剤の「ランタス<sup>®</sup>」(一般名:インスリングルルギン[遺伝子組換え])及び超速効型インスリンアナログ製剤「アピドラ<sup>®</sup>」(一般名:インスリングルリジン[遺伝子組換え])を提供しています。サノフィ・アベンティスは2008年より、日本糖尿病協会の発展に寄与し、顕著な功績をあげた日本糖尿病協会の会員およびその関係者を表彰する、日本糖尿病協会「サノフィ・アベンティス賞」を後援しています。

また、糖尿病の患者さんや一般の方に向けて、糖尿病の情報ウェブサイト「糖尿病がよくわかるDM Town」([www.dm-town.com](http://www.dm-town.com))、「よくわかるインスリン」([www.dm-town.com/insulin/](http://www.dm-town.com/insulin/))を開設して情報提供を行っています。日本糖尿病協会とサノフィ・アベンティスが2006年より毎年実施しているHbA1c認知向上運動のイベントについても“DM-TOWN”([www.dm-town.com/hba1c/index2.html](http://www.dm-town.com/hba1c/index2.html))においてご覧いただけます。 \*エクア<sup>®</sup>(一般名:ビルダグリプチン)はノバルティスファーマ(株)と販売提携を行っています。